

公民科シラバス

学科	機械 電気 生産機械	学年	3	教科名	公民	科目名 [単位数]	現代社会[2]
教科書・副教材等	007実教 現社315 「最新 現代社会」、富山県教育委員会「ふるさと富山」						
科目の概要と目標	現代社会への関心を高め、いかに生きるかを主体的に考えることの大切さを自覚させる。また、郷土史を学ぶことにより、身近な地域と全体社会の関わりについて理解を深める。 生徒が関心を持つ課題やテーマを追求していけるよう、新聞や各種資料、映像、プリントなどを活用する。						
学期	単元名	学習内容	到達度目標				
1	自分らしく生きる	青年期とは 自己形成の課題(1) 自己形成の課題(2) 職業生活と社会参加	・青年期の意義と自己形成の課題について考察させ、青年としての生き方を自覚させる。 ・倫理や進路指導と関連させる。				
	人間としてよく生きる	哲学と人間 宗教と人間 科学と人間 自由の実現 人間と幸福 人間性の回復と主体性の確立 他者の尊重	・先哲の思想や宗教の意義に触れ、人間としていかに生きていくべきかを考察させる。 ・現代社会で「正義」「公正」「幸福」はいかにすれば達成されるのか、さまざまな思想家の主張を比較・考察させる。				
	日本人としての自覚	古代日本人の思想と仏教思想の展開 外来思想の受容と日本の思想	・日本人のアイデンティティを思想的な観点から理解させる				
	定期試験	一学期中間考査					
	現代国家と民主政治	民主政治の成立 民主政治の基本原則 民主政治のしくみと課題 世界のおもな政治制度	・日本国憲法の基本原則と政治機構、民主政治における世論形成と政治参加の意義などを理解させ、民主政治において主体的に生きる人間としての在り方生き方を考えさせる。				
	日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の成立 日本国憲法の基本的性格 自由に生きる権利 平等に生きる権利 社会権と参政権、請求権 新しい人権 人権保障の広がりや公共の福祉 平和主義とわが国の安全 こんにちの防衛問題	・法に関する基本的な考え方を理解させる。 ・政治・経済、日本史や世界史の学習内容と関連させる。				
	日本の政治機構と政治参加	政治機構と国会 行政権と行政機能の拡大 公正な裁判の保障 地方自治と住民福祉 政党政治 選挙制度 世論と政治参加	・議会制民主主義と権力分立について、その意義や多数決の原理と運用方法などについて理解させるとともに、民主政治の権力分立の意義を法の支配や基本的人権の保障と関連づけて理解を深めさせる。 ・民主政治のもとでは、国家の行為に対して最終的には国民自らが責任をもつことになるということを理解させる。 ・新聞などを教材として、身近な話題を示す。				
	定期考査	一学期期末考査					
	現代の経済社会	経済主体と経済活動の意義 経済社会の変容 市場のしくみ 市場の失敗 現代の企業 国民所得 経済成長と国民の福祉 金融の役割 日本銀行の役割 財政の役割と租税 日本の財政の課題	・激動する経済社会について、様々な角度から理解を深めさせ、個人や企業の経済活動における社会的責任について考察させる。 ・金融の意義や役割を理解させるとともに、金融政策の目的と手段について理解させる。 ・新聞記事を題材にし、現実の動きと関連させて説明する。 ・政治・経済の学習内容と関連させる。				
	定期考査	二学期中間考査					
2	日本経済の特質と国民生活	戦後復興から高度経済成長へ 安定成長からバブル経済へ 日本経済の課題 日本の中小企業 日本の農業 消費者問題 公害の防止と環境保全 労働問題と労働者の権利 こんにちの労働問題 社会保障の役割 社会保障制度の課題	・都市型・生活型公害や身近な環境汚染の事例をもとに、その解決には法整備だけでなく、個人や企業にも社会的責任が課されていることに気づかせる。 ・近年の雇用や労働の動向を、経済社会の変化や国民の勤労権の確保の観点から考察させる。 ・人間として生活が保障される社会保障制度の意義や役割を理解させるとともに、医療・介護・年金などの保険制度にみられる現状と課題を理解させる。				
	ふるさと教育	戦後の民主化 高度経済成長と富山 県都富山のまちづくり	・戦後復興から現代へと社会が変化する中で、富山県ではどのようなことが起きたのか理解する。				
	ふるさと教育	富山の風土 富山の年中行事 富山の伝統芸能 富山の伝統的な食文化	・自分たちが暮らす富山県の伝統を知り、現代社会に対する関心を深める				
	定期考査	二学期期末考査					
	国際政治の動向	国際社会と国際法 国際的な人権保障と国際政治 国際連合と国際協力 冷戦の成立とその崩壊 こんにちの国際政治 人種・民族問題 軍拡競争から軍縮へ 国際平和と日本の役割	・主権や国際政治、国際経済などの諸問題を理解させ、国際社会における日本の役割や日本人の生き方を考えさせる。 ・国際政治は国連を中心として、国際経済は貿易や為替を中心として身近な問題として考えさせる。				
	国際経済の動向と国際協力	貿易と国際收支 外国為替市場のしくみ 第二次世界大戦後の国際経済 地域的経済統合の進展 こんにちの国際経済 発展途上国の諸問題 経済協力と日本の役割	・主権や国際政治、国際経済などの諸問題を理解させ、国際社会における日本の役割や日本人の生き方を考えさせる。 ・国際政治は国連を中心として、国際経済は貿易や為替を中心として身近な問題として考えさせる。				
	地球環境問題	破壊される地球(1) 破壊される地球(2) 地球環境の危機 地球環境問題への取り組み 自然の保護と再生	・地球環境問題の現状について把握させるとともに、これらの問題は自分たちにとって身近な問題であることに気づかせる。				
	資源・エネルギー問題	限りある資源 資源をめぐる動向 エネルギーの開発と利用 原子力と再生可能エネルギー 人口問題と食料・水資源 人工と食料(航跡マップから見た世界)	・資源・エネルギーの利用において国家間の利害が衝突している現状を認識させる。とくにエネルギー問題については、国内の情勢だけでなく国際的な動向にも注目させ、原子力や再生可能エネルギーによる発電がどうあるべきかを考察させる。				
	生命科学と情報技術の課題	人間の生死と生命科学 遺伝情報と利用の諸課題 高度情報化社会と情報倫理	・人間の福祉という観点から、科学技術はどのように利用されるべきかを考察させる。 ・情報化社会における課題を踏まえたうえで、情報化社会に生きるためのモラルやルールについて、どのような規制や法整備によって調整をおこなっていくべきかを考察させる。				
	定期試験	三学期期末考査					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業での活動状況 ・課題プリントの取り組み状況 ・定期考査 						

数学シラバス

学科	機械科	学年	3	教科名	数学	科目名 [単位数]	数学 I [1単位]
教科書・副教材等	007実教 数 I / 323 「高校数学 I」および課題プリント						
科目の概要と目標	方程式と不等式、二次関数及び図形と計量について理解し、基礎的な知識の習得する。それらを的確に活用する能力を身につけ、数学的な見方や考え方のよさを認識する。 統計の基本的な考え方を理解し、それをを用いてデータを整理・分析し、傾向を把握できる。						
学期		学習内容	到達度目標				
1	第2章 二次関数 第1節 二次関数のグラフ 中間考査	1 1次関数とそのグラフ 2 2次関数とそのグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例を通じて関数の概念を理解することができる。 ・関数をグラフ化することにより、関数概念の理解を深めることができる。 ・原点に頂点がある2次関数のグラフの特徴を理解し、正しくグラフを描くことができる。 ・y軸方向への平行移動を含む2次関数のグラフを正しく描くことができる。 ・x軸方向への平行移動を含む2次関数のグラフを正しく描くことができる。 ・x軸およびy軸方向への平行移動を含む2次関数のグラフを正しく描くことができる。 ・2次関数の一般形を標準形に変形し、そのグラフを正しく描くことができる。 				
	期末考査						
2	第2節 二次関数の値の変化 中間考査	2次関数のグラフに関する総合的な演習 1 2次関数の最大値、最小値	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数のグラフに関する総合的な演習問題を解くことができる。 ・定義域が実数全体であるような2次関数について、グラフを利用して最大値または最小値を求めることができる。 ・定義域に制限がある2次関数について、グラフを利用して最大値または最小値を求めることができる。 				
	期末考査	2 2次関数のグラフと2次方程式 3 2次関数のグラフと2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数のグラフとx軸の交点のx座標が、2次方程式の実数解と対応することを理解することができる。 ・2次関数のグラフがx軸と2点を共有する場合について、2次不等式の解を正しく求めることができる。 ・2次関数のグラフがx軸と1点を共有する場合または共有点を持たない場合について、2次不等式の解を正しく求めることができる。 				
3	第5章 データの分析 第1節 データの整理	1 統計とグラフ 2 データの整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒストグラムや代表値などにより、資料を活用することができる。 				
	第2節 データの分析 第3節 コンピュータによる統計処理 学年末考査	1 代表値 2 データの散らばり 3 相関関係 1 表計算ソフトウェアによる統計処理	<ul style="list-style-type: none"> ・平均値、中央値、最頻値などの用語を理解する。 ・四分位偏差、分散、標準偏差などの意味を理解し、データの傾向を把握することができる。 ・散布図、相関関係の意味を理解し、データの相関を的確に捉えることができる。 ・大量なデータであっても表計算ソフトを利用して代表値や散布度を求めることができる。 				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業での活動状況 ・課題プリントの取り組み状況 ・定期考査 						

理科シラバス

学科	機械科	学年	3	教科名	理科	科目名 [単位数]	科学と人間生活 (2単位)
教科書	61 啓林館 科人 302 「科学と人間生活」						
目標	自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な物事・現象に関する観察・実験などを通して理解を深め、科学的に考え、調べる能力と、自然に対する総合的な見方や考え方を身につけることを目標とする科目です。						
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験を通して、自然科学の基本的原理や法則を理解します。 ・科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解します。 						
学期	単元名	項目名	主な学習内容	評価方法			
1	序章 科学技術の発展		・科学技術の進歩・発展を、情報・通信技術を例に理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・行動観察 ・ワークシート(取り組み状況含む) ・定期考査 ・観察、実験 			
	第1部 生命の科学 第1章 生物の光	A 植物の生育と光	・植物が光合成によって有機物をつくることを理解する				
		B ヒトの視覚と光	・視覚が環境について多くの情報を与えてくれることを理解する				
	定期考査	1学期中間考査	前時までの復習				
	第2部 物質の科学 第2章 材料とその再利用	C 動物の行動と光	・光に対する動物の行動を理解する				
		章末問題	・第1章の学習状況について自己評価する				
	A プラスチック	・プラスチックの種類と性質について理解する					
定期考査	1学期末考査	前時までの復習					
2	B 金属		・金属の種類と用途、製造法について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・行動観察 ・ワークシート(取り組み状況含む) ・定期考査 ・観察、実験 			
		C セラミック	・セラミックの原料と製造方法について理解する				
		章末問題	・第2章の学習状況について自己評価する				
	定期考査	2学期中間考査	前時までの復習				
	第3部 光と熱の科学 第1章 光の性質とその利用	A 光とは何か	・光のもつ波の性質について理解する				
		B 光の性質	・光の性質と色について理解する				
	C 電磁波とその利用		・電磁波の種類とその利用について理解する				
章末問題		・第3章の学習状況について自己評価する					
定期考査	2学期末考査	前時までの復習					
3	第4部 宇宙や地球の科学 第1章 身近な天体と太陽系における地球	A 太陽系の中の地球	・太陽系の構造と地球について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・行動観察 ・ワークシート(取り組み状況含む) ・定期考査 ・観察、実験 			
		B 太陽と人間生活	・太陽からのエネルギーと人間生活について理解する				
		C 天体の運行と人間生活	・天体の運行と人間生活の関連を理解する				
	章末問題	・第4章の学習状況について自己評価する					
定期考査	学年末考査	前時までの復習					
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 観点① 自然事象への関心・意欲・態度 観点② 科学的な思考・判断・表現 観点③ 観察・実験の技能 観点④ 自然事象についての知識・理解 						

保健体育科シラバス

学科	機械	学年	3	教科名	保健体育	科目名 [単位数]	体育 [2]
教科書・副教材等	大修館書店 保体304 現代高等保健体育 改訂版						
科目の概要と目標	各種の運動の合理的な実戦を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を養い、生涯を通じて、継続的に運動ができる資質や能力を身につける。						
学期	単元名	項目名	到達度目標				
1	体づくり運動	オリエンテーションおよび体づくり運動	教科の意義、1年間を通じて、授業に対する注意事項を理解する。集団で行動するために必要な集団行動ができる。体力の現状を把握し、体力要素の意味を理解して、体力改善のための課題を見つけることができる。				
	定期考査	中間テスト					
	フレッシュテニス	ルール サービス レシーブ ゲーム (球技大会)	ネット型のゲームの特性を理解し、相手の動きや球種に応じた作戦を立て、シングルス及びダブルスのゲームができる。 フレッシュテニスの種目の総決算とし、技能、戦術に加えて、チームへの協力、大会運営に積極的に参加することができる。				
	体育理論	技能と体力、体カトレーニング	技能と体力の関係、練習とトレーニングの基本原則、効果を上げるための5原則について理解し、説明することができる。 体カトレーニングを支える基礎理論、体カトレーニングの進め方を理解し、目的に応じた様々なトレーニングの方法を説明することができる。				
	定期考査	期末テスト					
2	体づくり運動	オリエンテーションおよび体づくり運動	体育に関する意義、注意事項を理解することができる。 長期休業後において、体ほぐし運動で、体の調子を整えるとともに、仲間と交流することができる。				
	ダンス	創作ダンス	現代的なリズムに乗ってリズムカルに身体を動かし、心身の開放感を味わい仲間と交流することができる。またリズムを変化させたりステップや空間を工夫して踊ることができる。				
	マット運動	倒立 側方倒立回転	自己の能力に応じて技を選択、習得し、それらの技を組み合わせで連続技とすることができる。また、技を改善したり、技を新たに追加したりして、演技の内容を豊かにすることができる。				
	定期考査	中間テスト					
	バドミントン	基本技能 応用技能 審判法 ゲーム (球技大会)	ラケットやシャトルを使うネット型ゲームの特性を理解し、ハイクリア、スマッシュ、ドロップ、ドライブ、ヘアピンなどのフライを使い分け、相手の動きやフライに対応した試合展開ができる。また、ダブルスではルールを理解しパートナーとの連携を工夫し有利に試合展開することができる。 バドミントンの種目の総決算とし、技能、戦術に加えて、チームへの協力、大会運営に積極的に参加することができる。				
	体育理論	オリンピックと国際理解	オリンピックとオリンピックムーブメントについて理解し、オリンピックがどのように変貌してきたかについて説明することができる。				
	定期考査	期末テスト					
3	体づくり運動	オリエンテーションおよび体づくり運動	体育に関する意義、注意事項を理解することができる。 長期休業後において、体ほぐし運動で、体の調子を整えることができる。				
	バスケットボール	個人技術 オフェンス技術 つなぎの技術 ディフェンス技術 ゲーム	ゴール型のゲームの特性を理解し、集団技能や個人的技能を活用して学習段階に応じて作戦を立て、ゲームをすることができる。集団的技能としては、進攻、セットオフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かすことができる。個人的技能としては、パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイントなどを身につける。				
	体育理論	日本のスポーツ振興	現在に至るまでの日本のスポーツ振興の流れや地域におけるスポーツクラブの状況について理解し、説明することができる。				
	選択制体育	バレーボール、フットサル、卓球	左記の3種目から、学年単位で、生徒自身が興味のある種目を選択し、計画、練習、試合、反省など授業を運営することができる				
	定期考査	学年末テスト					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業での活動状況 ・自作課題プリントの取り組み状況 ・定期考査 						

機械科シラバス

学科	機械	学年	3	教科名	工業	科目名 [単位数]	情報技術基礎 [2]
教科書・副教材等		7実教 工業385 情報技術基礎 新訂版					
科目の概要と目標		1. 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。 2. 情報技術に関する知識と技術を習得する。 3. 工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身につける。 情報化社会の概念、アプリケーションソフトウェアの利用技術、C言語によるプログラミング技術、情報機器の機械的な技術とインターネットの活用等について系統的に指導する。					
学期	単元名	学習内容				到達度目標	
1	第1章 産業社会と情報技術	1. 情報と生活、コンピュータの特徴 2. コンピュータの構成、発達 3. 情報化社会の権利とモラル 4. 情報のセキュリティ管理				情報化社会について興味関心を持つ。 コンピュータを扱う基礎基本について理解する。 情報化社会の進展とモラルの重要性について理解する。 コンピュータウイルス対策や情報の不正利用防止のための基本的な技術を理解する。	
	第2章 コンピュータの基本操作とソフトウェア	1. コンピュータの基本操作とソフトウェアの基礎 2. アプリケーションソフトウェア				ソフトウェアの分類とオペレーティングシステムの目的および基本操作について理解する。 アプリケーションソフトの種類を理解する。	
	定期考査	1学期中間考査					
		2. ワードプロセッサ				ワードプロセッサによるデータの入力等の基本操作を習得する。	
		3. 表計算ソフトウェア				ワードプロセッサによるデータの編集加工等の基本操作を習得する。	
		4. プレゼンテーション支援ソフトウェア				表計算ソフトウェアによるデータの入力等の基本操作を習得する。	
	定期考査	1学期期末考査				表計算ソフトウェアによるデータの処理等の基本操作を習得する。 プレゼンテーション支援ソフトウェアによるデータの入力等の基本操作を習得する。	
2	第3章 プログラミングの基礎	1. プログラミング言語 2. プログラムの作り方 3. 流れ図とアルゴリズム				プログラミング言語の種類について理解する。 問題の分析・検討、流れ図作成法について理解する。 基本的な流れ図について理解する。	
	第4章 BASICによるプログラミング	1. BASICの特徴 2. 四則演算のプログラム 3. 文字データの取扱 4. データの読み取り				BASICの特徴について理解する。 四則演算、データ入力等の命令を理解、習得する。 文字データの取扱を理解、習得する。 プログラム中にデータを設定する方法を理解、習得する。	
	定期考査	2学期中間考査					
		5. 選択処理				条件分岐と無条件分岐について理解、習得する。	
		6. 繰り返し処理				繰り返し処理について理解、習得する。	
		7. 配列処理				配列について理解、習得する。	
		8. 外部関数				外部関数について理解、習得する。	
		9. グラフィックス				コンピュータグラフィックスについて理解、習得する。	
	定期考査	2学期期末考査					
3	第5章 Cによるプログラミング	1. Cの特徴				Cの特徴について理解する。	
	第6章 ハードウェア	1. データの表し方 2. 論理回路の基礎 3. 処理装置の構成と動作				2進数、16進数などの取り扱いを理解する。 論理回路の基本を理解する。 処理装置のしくみと働きを理解する。	
	第7章 コンピュータネットワーク	1. コンピュータネットワークの概要・構成・通信技術				コンピュータネットワークについて理解する。	
	第8章 コンピュータ制御	コンピュータ制御の基礎と概要				コンピュータ制御の考え方と具体的な方法について理解する。	
	第9章 情報技術の活用	情報の収集と活用				適切な情報収集方法と情報の選択方法を知り、活用できる力を習得する。	
	定期考査	学年末考査					
評価方法		・出席状況 ・授業での活動状況 ・課題プリントの取り組み状況 ・定期考査					